

令和6年度 第2回我孫子市商業観光まちづくり委員会（分科会4）
会議概要

1. 会議名称	令和6年度 第2回我孫子市商業観光まちづくり委員会 （分科会4）
2. 開催日時	令和6年7月8日（月）13：00～15：00
3. 開催場所	我孫子市役所 議会棟 B会議室
4. 出席者	<p><委員> 依田委員長、中澤委員、掘井委員、森住委員 <欠席者> 熊本委員</p> <p><事務局> 商業観光課 迫田課長補佐、大阿久係長、輪島</p>
5. 報告	第1号 経過報告
6. 議題	第1号 商業観光まちづくり事業の検討について
7. 配布資料	<p>資料1 経過報告</p> <p>資料2 我孫子市商業観光まちづくり委員会各種会議日程（予定）</p> <p>資料3 我孫子市市制施行50周年記念事業の取り扱いについて（参考）</p>
8. 公開・非公開	公開
9. 傍聴人	2人（発言者2名）

会議の内容

会議の公開と傍聴について

我孫子市審議会等の会議の公開に関する規則と我孫子市商業観光まちづくり委員会傍聴要領（案）を事務局より説明した。我孫子市商業観光まちづくり委員会傍聴要領（案）については、異議なく原案通り可決した。

報告第1号 経過報告

資料1に基づき、事務局より経過を報告した。

<質問と回答>

（委員）スマートサイクルの導入時期は12月1日で正しいか？

(事務局) 12月1日サービス開始を予定している。

(委員) スマートサイクル事業への公募事業者は1者か。応募者のコンソーシアムはどのような団体か。

(事務局) 1者である。コンソーシアムは、株式会社L u u pと株式会社地域新聞社による共同企業体で、株式会社L u u pがスマートサイクルの導入・運営を、株式会社地域新聞社がポータルサイトの制作等を行う。

(委員) スマートサイクルは何台設置するか。

(事務局) 自転車は12台。ポートは3か所。

(委員) 電動キックボードも導入する予定はあるか。

(事務局) 現段階では自転車のみを予定している。

(委員) 3市周遊デジタルスタンプラリーの参加者は何人だったか。

(事務局) 約4,000人。

<意見>

(委員) 大学内にスマートサイクルがあれば利用したいとする学生の意見がある。駅と学校の往復のみならず、市内の回遊にもつながると良い。

議題第1号 商業観光まちづくり事業の検討について

市制55周年に向けた商業観光まちづくり事業の検討を行った。

<事務局の説明>

- ・市では市制55周年記念事業を官民間わず公募する予定である。採択された事業は市制55周年記念事業という名前の使用が認められ、広報あびこや市ホームページを活用したPRが行われる。実施要領は秘書広報課で検討中。
- ・教育委員会が志賀直哉に関する展示、写真展、鳥の博物館での環境をテーマにした講演会を検討している。

<質問>

(委員) 市が実施する事業で具体的に決まっていることはあるか。

(事務局) 決まったものはない。教育委員会が志賀直哉に関する展示、写真展、鳥の博物館での環境をテーマにした講演会を検討している。

(委員) 市制55周年記念事業の予算は決まっているのか？

(事務局) 決っていない。

(委員) 中央学院大学は来年創立125周年である。記念事業を打ち出したいが費用面が課題。市制55周年と創立125年のタイアップで、例えば、市民に学園祭に来てもらうなどはどうだろうか。中央学院大学には地域連携カイギ部があり、学生との連携もできる。

(事務局) 市制施行50周年記念事業の時の実施要領に照らすと、対象事業に当てはまる可能性がある。他の地域で、学生が中心になって映画の上映会を開催したという話を聞いたことがあるが、学生の活動にも期待している。

(委員) 50周年の時の事業は何があったか。

(事務局) 記念式典や山下清展等を実施した。

(委員) 産学官連携が一つのテーマだと考えているが、1から事業を立ち上げるのか、それとも市がすでに検討している事業に賛同して乗るのか、どちらが方よいのだろうか。

(事務局) どちらの可能性もあると考えている。

(事務局) 中央学院大では白樺派に関する取組みなどはあるか。

(委員) 白樺派の文学研究をしている先生がいるため、話を伺ってみる。市の企画政策課の所管で大学生による政策提案という取り組みがあり、担当ゼミからも案を出したい。9月提出期限。

(委員) 実施する事業は今後も継続するのか、単発になるのか。

(事務局) どちらの可能性もあると考えている。企画次第である。

(委員) 予算確保の手段は、国の補助金等を活用する、市の事業として採択され予算をつけてもらう、企業が協賛するの3つだろうか。

(事務局) 企業版ふるさと納税もありうる。

(委員) 我孫子市ふるさと大使のお笑いイベント等のイベントを、他の55周年記念イベントと同日に開催することは無いか。同日の方が集客力もある。

(事務局) 現状は同日開催は想定していない。各課の議論が連動していない。広報は一緒に行われる。

(委員) アーティストを呼び込むような活動はされているか。

(委員) 大阪のアーティストに3週間我孫子に住んでもらい、絵を描いてもらった。その絵を掲載した冊子を作成し、11月末に代官山のツタヤに置いてもらう予定。

<意見>

(委員) 55周年事業が3年後、5年後の未来につながっていくと良い。例えば、文化・スポーツ課で検討している白樺派に関連するイベントを拡大できたら良いが、検討するためにももう少し情報がほしい。

(委員) 白樺派を学生が研究して、現代の若い人たちに分かりやすくアピールできると良い。顔はめパネルの作成等はどうだろうか。

(委員) 取手市の芸大生や常磐線沿線のアーティストが、白樺派の作品に触れ、我孫子に来た時に沸くインスピレーションを作品作りに活かしてもらいたい。現在はアーティストインレジデンスにも取り組んでいる。昔の良いところと、今後の我孫子を掛け合わせられたら良い。

(委員) 天王台のガソンシみたいなアニメ製作もおもしろい。

(委員) 交流拠点が作れると良い。先ほど話題に出たアーティストインレジデンスもアーティストの交流拠点と言えるし、最近だと市営住宅を学生がリノベーションして、シェアハウスをするというケースがある。学生が自分の作品を展示して、発信しそこから物語が生まれる。「物語が生まれるまち」という我孫子市のキャッチコピーとも親和性がある。

(委員) この委員会ではじめる取り組みは、継続していけたら良いと考えている。我孫子の強みを活かすという点で、志賀直哉、白樺派は良い着眼点。芸術に造詣の深い学生が住み、我孫子にコミュニティが形成されると良い。

(委員) 志賀直哉の短編小説を題材とした我孫子で上映する予定だったが、コロナ禍で頓挫した。

(委員) フィルムコミッションの活動も活発なので、映画の街として宣伝していくのも良い。

(委員) 中央学院大学と川村学園女子大学の学生が我孫子をテーマに映画を作るといった話があった。

- (委員) 既存のイベントに新たなコンテンツを組み合わせるのはどうか。
- (委員) カップまつりにねぶたを持ち込みたいと考えている。来年に向けてカップねぶたを作りたい。
- (委員) 我孫子にはアーティストが多く住んでいるはずだが、出会えていない。そういった方々が集まると面白いと思う。
- (事務局) ミニ鉄道の路線上にトンネルがあり、壁画が描かれているが、経年劣化が著しい。リニューアルしたいが、絵画という性質上、どのように発注すべきか悩んでいる。
- (委員) 知り合いで、大手デパートや大規模イベントとコラボして絵を描いているアーティストがいる。その方に話してみる。
- (委員) 手賀大橋のオオバンは誰がどういうスキームで書いたのか。
- (事務局) 確認する。
- (委員) 商業観光に寄与する取り組みが作りたい。55周年を活用して、市内各所に看板を設置して、自転車で回ってもらえるのはどうか。看板はアーティストにお願いするのも良い。5年保つような仕様にできれば、60周年の時に更新して、継続性を持たせることができる。
- (委員) 市内周遊、スタンプラリー、アート、文化、これらが結びついて、55周年をきっかけに事業の地盤ができると、さらに発展できる。
- (事務局) 3市周遊デジタルスタンプラリーの我孫子市ナンバーワンスポットは天泉というアートだった。アートの集客力が発揮されたと受け止めている。
- (委員) 取手ロータリークラブが過去に行った事業として、取手市内の中学生からの提言というテーマで作文を収集し、冊子にした。知られていない市の魅力が発見でき、中身が非常に良かった。本にして市民に配れたら良い。
- (委員) 学生から旧井上家住宅は大正のコスプレイベントの場として需要があるのではという意見があった。
- (委員) 昨年、市の主催でコスプレイベントを開催していた。